整理番号

D－1－4　　535

標 題 名

輸出入植物取締法ニ依リ特定地産植物ノ輸移入ヲ
禁止若ハ制限スル必要アル害虫ニ関スル調査

著 者 名

発行者名

農林省農務局

発 行 年

大正１５．１２

製作年月

平成２９年３月

大正十五年十二月

輸出入植物取締法第七條ニ依リ特定地産植物ノ輸移入ヲ禁止若ハ制限スル必要アル害蟲ニ関スル調査

農林省農務局

大正十五年十二月

輸出入植物取締法第七條ニ依リ特定地産植物ノ輸移入ヲ禁止若ハ制限スル必要アル害蟲ニ關スル調査

農林省農務局

# メヂテレニアン實蠅

學名　Ceratitis capitata Wiedemann.

寄主植物　柑橘、芭蕉、梨、桃、杏、李、梅、苹果、葡萄、無花果、柿、枇杷、楾榜、楾果、荔枝「マンゴスチン」蓮霧、蕃石榴「アボカド」「パパヤ」「ゴレンシ」、「テリハボク」珈琲、蕃茄、茄等

分布地域　布哇群島、濠洲聯邦「タスマニア」「ニユージランド」亜弗利加洲（「アゾレス」群島「ケープバード」群島「マデイラ」「マダガスカル」ヲ含ム）「パレスタイン」「シリア」土耳其、希臘、伊太利、「マルタ」佛蘭西、西班牙、「バミユーダ」西印度諸島「ブラジル」「アルゼンチン」

形態　成蟲、帯赤黄色ノ小形ノ蠅ニシテ基部ニ褐黄色ノ斑紋ヲ有スル半透明ノ翅ヲ有ス

幼蟲黄白色ノ蛆ナリ

経過習性　成蟲ハ果實ノ皮下ニ産卵スルヲ以テ孵化セル幼蟲ハ

果肉ヲ喰害シ老熟スレハ果實ヲ去リ地中ニ入リテ
蛹化ス

天敵　寄生蜂二三種及蟻ノ一種 *Pheidole megacephala* Fab.
アリ

駆除豫防法ニ被害果ノ處分
二、藥劑撒布

本邦トノ關係　本邦ト交通上最モ密接ナル關係ヲ有スル布哇群島
ヨリハ本蟲ノ傳播ヲ防止スル為既ニ寄主植物ノ輸
移入ヲ禁止シ居ルモ更ニ濠洲其ノ他発生區域ニ對
シテモ同様ノ處置ヲ講フノ必要アルモノト認ム

# 瓜實蠅

學　名　*Chaetodacus cucurbitae Coquillett.*

寄主植物　胡瓜、西瓜、甜瓜、南瓜其ノ他ノ蔬果類、蕃茄、菜豆、紅豆等

分布地域　台湾、比律賓群島、濠洲聯邦、瓜哇、チモール島、英領海峽殖民地、英領印度、南部支那、布哇群島、沖縄縣等

形　態　成蟲ニ分乃至三分大ノ家蠅ニ類似セル蠅ニシテ黃色乃至帶黃色ヲ呈ス翅ニハ暗褐色ノ斑紋アリ

幼蟲帶黃白色ノ蛆ニシテ老熟セルモノハ三分三厘位ノ大サトナル

經過習性及被害狀況　成蟲ハ寄主植物ノ茎、蔓、茎、花或ハ果實ニ産卵ス孵化セル幼蟲ハ孵化セル場所ニヨリ次々前記植物ノ部分ヲ喰害ス此ノ爲嫩芽及子房ハ発育ヲ害セラレ蔓又ハ茎ハ衰弱シ或ハ枯死シ、果實ハ腐敗スルニ至ル布哇ニ於テハ年八回乃至十回発生ス

天敵　有力ナルモノナシ只印度ニ於ケル *Opius fletcheri* Silv. ハ多少其ノ繁殖ヲ制裁スルカ如シ

駆除豫防法

一、砒酸鉛加糖蜜ノ撒布

二、被害果ノ落下

三、寄主植物ノ被覆

本邦ト関係　本蟲ハ我國ニ於テモ台湾及沖縄縣八重山郡ニ産ス本蟲ノ侵入ヲ防止スル為台湾其ノ他本蟲分布地ヨリ寄主植物ノ輸入ヲ禁止シツヽアリ但シ台湾産西瓜ニシテ台湾総督府ノ植物検査済証ヲ有スルモノヲ除ク沖縄縣八重山郡ノ該蟲ニ對シテハ縣令ニ依リ取締ヲ為サシメツヽアリ

## コドリン蛾

**學名** *Cydia pomonella Linnaeus.*

**寄主植物** 苹果、梨、榲桲、桃、李、杏、胡桃

**分布地域** 濠洲聯邦ダスマニア、「ニユージーランド」歐羅巴、南亞聯邦、亞米利加合衆國、加奈陀、「アラジル」

**形態**

成蟲 灰褐色ノ小蛾廻ノ開長六分

幼蟲 孵化當時ノ幼蟲ハ白色ニシテ老熟スレハ淡桃色トナル大サ約六分

**經過及被害性**

成蟲ハ寄主植物ノ落花後葉莖或ハ果實ノ上ニ産卷スル事五日乃至十日ニシテ孵化ス孵化セル幼蟲ノ六ノ乃至八ノ分ハ幼果ノ萼端ヨリ喰入シテ髓部ニ及ブ老熟セル幼蟲ハ果實ヲ穿シテ樹皮下又ハ樹ノ割目ヲ求メテ繭ニ絲繞スコレヨリ羽化セル成蟲ハ更ニ産卵シ幼蟲ヲ生ス此ノ幼蟲ハ果面ヨリ喰入シ

老熟スレハ脱出シテ樹皮下ニ繭ヲ造リ蛹ニ変ジ越冬ス米國南部ニ於テハ三四回発生ヲナス

天敵　卵寄生蜂、蛹寄生蜂及幼蟲ノ寄生蠅アリ

駆除豫防方法　落花後ヨリ屢々砒酸鉛等ノ藥剤撒布ヲ行フコト

被害果ヲ集メ密閉シテ成蟲ノ羽化逸散ヲ防クコト

藥粒等ニ「バンディング」ヲ行ヒ幼蟲ヲ捕殺

本邦トノ關係　侵入防止ノ必要ト北米合衆國其ノ他本蟲発生地ヨリノ寄主植物ノ輸入ヲ禁止シツヽアリ

## 蜜柑小實蠅

学名　*Chaetodacus ferrugineus* var. *dorsalis* Hendel.

寄主植物　柑橘、桃、李、枇杷、檬果、蓮霧、蕃石榴等

分布地域　台湾、比律賓群島、風哇、英領印度、沖縄縣

形態　成蟲、体長六ー七粍、帶赤黄色ノ蠅ニシテ翅ハ透明ナリ

幼蟲、頭部尖小トナリ尾端ニ向ッテ膨大セル十粍位ノ蛆ナリ体色黄白色ナレトモ食物ノ色ニヨリテ赤黄色其ノ他ノ色ヲ呈ス

経過習性　成蟲ハ寄主植物ノ果實ノ裂目等ヨリ排出スル汁液ヲ吸収シテ生活シ晝天、午後晴天ノ早朝又ハ夕方將ニ熟サントスル果實又ハ落果ノ稍腐熟セルモノヲ探シ求メテ産卵ス卵期ハ二日乃至二十日ナリ孵化セル幼蟲ハ多數一ケ所ニ集合シテ喰害ス老熟セル幼蟲ハ果實ヲ去リ地上ニ落チ軽快ニ跳躍シ遠隔ナル場所ヲ求メテ蛹化ス

本蟲ハ年數回ノ發生ヲナシ常ニ各態ノ蟲ヲ見ルコトヲ得

被害狀況　産卵セラレタル果實ハ産卵孔ヨリ汁液ヲ流出セシム幼蟲ノ孵化セル果實ハ内部ヲ喰害サルヽニ依リ次第ニ腐敗シテ悪臭ヲ放チ味ヲ変シ遂ニ落下ス

天敵　二、三種ノ寄生蜂アリ

駆除方法　台湾ニ於テ施行シツヽアル方法左ノ如シ

一、袋掛

二、毒餌加糖蜜ノ撒布

三、被害果ノ處理

本邦トノ關係　傳播ヲ防止スル為本蟲寄生地ヨリ本蟲寄主植物ノ輸移入ヲ禁止セリ但シ台湾産柑橘ノ果實ニシテ台湾総督府ノ植物檢查済証ヲ有スルモノヲ除外ス

又本蟲ハ我カ沖縄縣ニ之ヲ産スルヲ以テ同縣ヲシ

テ寄主植物ノ移出ニ付取締ヲ行ハレタルコトアリ

## アリモドキ象蟲

學　名　*Cylas formicarius* Fabricius.

寄主植物　甘藷等

分布地域　英領印度、支那、支那（広東省）、比律賓群島、蘭領印度諸島、濠洲、「トンガ」諸島、亜米利加合衆國、西印度諸島、英領「ギアナ」、「マダガスカル」島、「リベリア」、「マウリチウス」島、台湾、沖縄、鹿児島縣下大島及與論島、東京府下小笠原島

形態　成蟲、体長ハ二分乃至三分、翅鞘ハ濃藍色、体ハ一見蟻ノ觀アリ

幼蟲　白色、円筒形ニシテ多クノ皺ヲ有ス

## 経過習性

台湾ニ於テハ年六ー七回ノ発生ヲナスカ如シ其ノ発生ハ甚ダ不規則ニシテ常ニ各態ノ蟲ヲ認ムルコトヲ得

成蟲ハ甘藷ノ主際ノ莖又ハ露出セル根塊ニ産卵スル卵ハ数日ニシテ孵化シ根塊ノ内方ニ向ツテ隧道ヲ穿チテ暖害ス

成蟲ハ根塊ト共ニ基葉ヲモ食ス

## 被害

被害ハ幼蟲ニヨルモノ最モ大ニシテ其ノ喰入セルモノハ外觀何等異状ヲ呈セザルモ内部ハ縦横ニ穿孔セラレ此ノ際ハ蟲糞ヲ以テ充タサル其ノ為悪臭ヲ発シ甚味ヲ呈シテ食用ニ供シ得サルノミナラス家畜ヲ斃シ又ハ害スルコトアリ

## 天敵

一種ノ蜂及蠅蟲ニ寄生セルコトアリ

## 駆除予遠ニ妻制機術

二、根塊ノ燻蒸

三、被害根塊ノ處分

本邦ト關係

我カ領土内ニ於ケル本蟲ノ發生地ハ年々多額ノ甘藷ヲ産スルモ商品トシテ生甘藷ヲ内地ニ移入スルモノハ僅少ナリ

本蟲ハ元熱帯ノ原産ナレトモ北米等ニ於ケル狀況ヲ見ルニ甘藷栽培ノ北進ト共ニ本蟲モ亦北ニ向ツテ適應シツヽアリ而シテ北米ニ於テハ北緯三十五度迄其ノ發生ヲ見ル

(東京ハ北緯三十四度)サレハ本蟲ハ日本内地ニ侵入スルニ於テハ充分ニ適應繁殖スルモノト推セラルル仍テ該蟲發生地産甘藷ノ輸移入ヲ禁止スル必要アリ又之カ發生ヲ認ムル内地ノ一部ニ對シテハ府縣ヲシテ害蟲駆除豫防法ニヨリ取締ヲ行ハシムル必

要アリ

# 筍實蠅

學　名　*Acrotaxitis pluminasa Iyeniadel.*

寄主植物　筍

分布地域　台湾、

形　態　成蟲、幼蟲共ニ明カニ本ニ有ル實蠅ニ類似スルモ稍大形ナリ

經過習性　成蟲ハ周年存在シ幼筍ノ籜ノ内面ニ産卵シ孵化セル幼蟲ハ漸次節ニ移リユキ内部ニ喰入シ遂ニ其部ヲ縦横ニ穿孔シテ之ヲ腐敗セシム又腐敗セサルモノハ成長ノ後風筆ノ爲ニ折倒シ、幼蟲ハ老熟スレバ地上ニ落下シ地中ニ化蛹ス

駆除予防法

竹林ニ落葉塵芥等ヲ堆積シ筍ノ外気ニ曝サルヽコトヲ避ケ堆積物ノ上ニ筍ノ上端ノ出ルト共ニ掘取ルヘシ

ニ被害筍ハ掘取後燻蒸スヘシ

本邦ト関係

台湾ヨリ来ル筍ニハ本蟲ノ外 Pachyrrhynchus Maculatus Kleidel ヲ見ル此等ノ害蟲侵入ヲ防止スル為台湾産生筍ノ移入ヲ禁止スル必要アリ

コトゲシンクヒ

学名 *Sinoxylon anale Lesne.*

寄主植物 竹等

分布地域 英領印度

形態　成蟲ハ黒褐色略長方形、二分大ノ甲蟲

被害経過習性　年三乃至五回ノ発生ヲナシ幼蟲又ハ蛹ニテ越冬ス成蟲幼蟲共ニ寄主ヲ侵ス蟲ハ寄主ノ弱ッタ衰弱セルモノヲ選ビテ加害シ皮下、木質部ヲ喰シ枝幹ヨリ根ニ迄至ル

駆除豫防方法　適當ナル方法ナシ

本邦ノ関係　本邦ニハ未ダ産セス先般印度地方ヨリ輸入セラレタル米穀ノ船中ニ於ケル通風用竹材ニ本蟲ノ喰入セルヲ発見セリ

本蟲発生地ヨリ本蟲寄主植物ノ輸入ヲ禁止スル必要アリ

學　名　*Phylloxera piri* ?

寄主植物　梨

分布地域　朝鮮、支那

形　態　黄色ノ小蟲ナリ

経過習性　年數回ノ発生ヲナス冬期卵態ヲ以テ梨樹ノ穎痕、粗皮下、幹ノ裂目等ニ越冬ス春期ニ至リ孵化セル幼蟲ハ陰所ニ潜伏シテ樹液ヲ吸収シ成熟スレハ昼夜ノ別ナク産乳ス

果實ヲモ浸シ果面ニモ産卵ス夏期ハ七日ニシテ乳ヨリ孵化シ二週間ニシテ産卵ヲ始ム

幼蟲成蟲共ニ果實ニ口吻ヲ挿入シテ果汁ヲ吸収シ為ニ果實ハ黒変シ亀裂ヲ生スルニ至リ遂ニ腐敗落下ス

駆除豫防法　冬期石灰硫黄合剤ノ撒布

朝鮮ニ於テハ發機ノ際硫黄華ノ撒布ヲ行ヒテ効アリトニフ

本邦トノ關係　特ニ病ヲ防止スル爲本邦発生地ヨリ梨果ノ輸移入ヲ禁止スル必要アリ且ツ朝鮮及關東州産梨果ハ更々朝鮮総督府及關東廳ノ植物檢査濟証ヲ有スルモノヲ除外セントス

55. 6. 23

植物防疫資料館
C－3-2－5003－4
河村真之助
寄贈

D
1-4
535